

Morin 純銀粘土取扱い説明書 (仮)

2025 年 2 月現在

Morin 純銀粘土は、高価な銀を 1 g も無駄なく使えて自由な表現を可能にするオンリーワンの純銀粘土です。

Morin の最大なる特徴

- ・乾燥後も水だけで粘土状態に再生できます。
- ・シート粘土、シリンジ粘土、ペースト粘土を作ることができます。
- ・繊細なデザインのテクスチャーも粘土に綺麗に写し取れます。
- ・乾燥後のヒビや傷の修正は、水に湿らせた綿棒でき、耐水ペーパー、スポンジ研磨剤だけでも修正できます。

1 造形

パッケージから取り出したら指先で揉むように均一に柔らかくしてください。指等に付着しにくくなります。

Morin どちらの接着は水又は Morin ペーストで (Morin を水で溶かしたもの) で行います。

作品は、焼成後 7%~15%程度縮むため、収縮を考えて造形してください。

指輪をつくる時

自分の指のサイズより+5号~8号大きいサイズで造形してください。

(例: 10号サイズの指輪をつくる時は、15~18号のリングサイズで造形します。)

銀粘土の量、大きさ、形、焼成温度、時間により収縮率が変わります。

「リング焼成芯材」(日陶科学(株) 別売商品) を使用すると変形しにくく、好みの形、号数を作ることが可能です。

- ・純銀粘土専用合成石は同時焼成可能です。

2 乾燥

ドライヤー乾燥の場合

温風乾燥で 30 分程度。乾燥後もやや弾力がある場合があります。

厚みのあるものや 15 g 以上のリングや作品の場合はドライヤー乾燥を 1 時間以上行ってください。

乾燥セットの場合 (日陶科学 (株) 販売)

別売の乾燥セットで 40 分~45 分乾燥します。

乾燥時の注意点

- ・雨の日のように湿度が高いとき、室温が低い時、乾燥時間を長めにお願いします。
- ・Morin の乾燥体が 150°C 以上になるような乾燥はしないでください。
- ・乾燥体は落とすと割れるので注意してください。

☆乾燥して固くなった Morin 純銀粘土を再生する方法☆

- ①乾燥体を小さく刻んで水を加えてラップで包みます。
 - ②そのままチャック付きの袋に入れて空気を抜き、口を閉じます。
- 水を入れすぎるとペーストになるため注意が必要です。

3 研磨

スポンジ研磨剤 (やすり) は、ウルトラファイン青 # 600 番で磨きます。

次にマイクロファイン緑 # 1000 番で磨き整えます。

4 焼成

しっかり乾燥させてから焼成してください。

作品に水分が残っていると、焼成中に水ぼうそうやお餅のように膨らんだり、割れ、ヒビの原因になります。

電気炉で焼成する場合

常温の電気炉に乾燥体を入れて 800°C～850°Cまで昇温します。昇温するまで約 20 分かかります。(日陶科学(株) 小型電気炉の場合) そして 800°C～850°Cになってから 1分～5分焼成します。

〈焼成〉参考：重さ 5g までの造形品の焼成時間の目安です。

常温より電気炉に入れます。

600°C 30分。

750°C 5分。

800°C 1分～5分。(リングは5分。)

850°C 1分～5分。

SV925. SV950*1との同時焼成は 600°Cで 30分。

900°Cより高い温度で焼成しないでください。(900°Cは OK)

*1：SV925.SV950：市販のシルバーチェーンなどの SV 品 (シルバー品)

簡易焼成器具で焼成する場合

シルバーポット、シルバーミニポット(日陶科学(株)製)で焼成する時：固形燃料が燃え尽きたら焼成終了。

ミニパン(日陶科学(株)製)で焼成する時：カセットコンロで、中火～強火で 5分～7分で焼成終了。

強力ガスバーナーでも焼成可能です。

5 焼成後の磨き

焼成後は、真っ白に焼きあがります。磨き仕上げで完成です。

☆残った Morin 純銀粘土の保管方法☆

残った Morin 純銀粘土は、空気に触れないよう密閉袋(容器)で保存してください。

未開封の場合、通常 2～3 か月保管可能ですが、なるべくお早めにご使用ください。(硬くなっても水で粘土に戻せます。)

直射日光、暑い室内や車中等は、避けてください。

注意事項

体質によって、かゆみ、かぶれを生じる場合がありますので、皮膚、人体に異常を感じた場合は、ご使用をおやめいただき専門医にご相談ください。

目に入れたり、口にいたりしないでください。

小児の手の届かない所に保管してください。

使用後は石鹸等でしっかり手洗い、うがいをしてください。

造形後の研磨(焼成前乾燥体・焼成後)は、マスク、防塵カバー等ご使用ください。微粉末が飛ぶおそれがあります。焼成時にバインダーの成分により煙、ガスが発生することがあります。必ず室内の換気を十分に行ってください。上記の取扱い方法を守り、通常目的以外でのご使用は絶対にしないでください。

純銀粘土とは？

見た目は粘土のようですが、焼成すると純銀になります。

子どもからお年寄りまで、誰でも簡単に使えます。

日陶科学株式会社

〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川二丁目 18 番 3 号

TEL(052)935-5020 FAX(052)935-8982 工芸部 E-Mail kougei@nittokagaku.com